

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號三第 卷四十四第

行發日一月三年二十和昭

論叢

賣上税の課税方法

法學博士 神戸正雄

國民生命史觀

經濟學博士 石川興二

貸借對照表の問題

經濟學博士 蜷川虎三

時論

輸入統制の目的

經濟學博士 谷口吉彦

研究

國際的再保險と爲替相場の變動

經濟學士 佐波宣平

シユラーの保護貿易論

經濟學士 岡倉伯士

ミッダルの貨幣論について

經濟學士 服部新一

說苑

土地利用組合に關する一資料

經濟學博士 八木芳之助

スタハノフ運動

經濟學士 大塚一朗

農民の税外負擔

經濟學士 柏井象雄

附錄

新着外國經濟雜誌主要論題

大正四年六月二十一日第三種郵便物認可(毎月一回一日發行)
經濟論叢第四十四卷第三號附錄昭和十二年三月

京都帝國大學經濟學會報

第八十六號

○來學年度授業擔任

來學年度授業擔任內定せしもの左ノ如シ。

經濟原論教授高田保馬。統計學第一部教授財部靜治。統計學
第二部助教授蜷川虎三。植民政策教授八木芳之助。財政學教
授汐見三郎。社會政策教授作田莊一。國際經濟論教授作田莊
一。商業經濟學教授谷口吉彥。經濟史教授本庄榮治郎。東洋
經濟學史教授本庄榮治郎。經濟哲學教授石川興二。保險學教
授小島昌太郎。經濟學史教授石川興二。工業經濟學助教授大
塚一朗。哲學概論講師米田庄太郎。行政法總論教授渡邊宗太
郎。民法總則教授石田文次郎。民法債權教授田島順。民法物
權助教授於保不二雄。民法親族相續教授近藤英吉。商法總則
會社助教授大森忠夫。商法商行為手形講師烏賀陽然良。商法

保險海商助教授大橋光雄。

經濟演習

教授財部靜治。教授高田保馬。教授黑正巖。教授小
島昌太郎。教授作田莊一。教授汐見三郎。教授石川
興二。教授谷口吉彥。教授八木芳之助。助教授蜷川
虎三。助教授中川與之助。助教授大塚一朗。

英經濟書

第一學年 助教授堀江保藏
第二學年 助教授堀江保藏
第三學年 助教授堀江保藏

獨經濟書

第一學年 助教授堀江保藏
第二學年 助教授中川與之助。助教授大塚一朗
第三學年 助教授中川與之助。助教授大塚一朗

佛經濟書

第一學年 助教授松岡孝兒
第二、三學年 助教授松岡孝兒

特別講義

經濟學總論教授小島昌太郎。人口統計教授財部靜治
外國爲替論教授谷口吉彦。産業組合論教授八木芳之
助。都市經營論助教授中川與之助。日本資本主義の
成立助教授堀江保藏。佛金融論助教授松岡孝兒。

○部長更迭

昭和十二年二月十日付を以て左記の通り更迭ありたり。

依願京都帝國大學經濟學部長を免す 本庄榮治郎

補京都帝國大學經濟學部長 汐見三郎

○經濟學會一月例會

一月廿五日(月)午後七時より樂友會館にて開催、左記の報告
があつた。

一、所謂倫理的經濟學に於ける人間學

出口勇藏氏

一、ハーバラー貿易理論の統一的理解と若干の批判

松井清氏

出口氏報告の要旨は次の如くである。——新歴史學派の理論
即ち倫理的經濟學の代表者、シユモラー及びワグナーは、英國
經濟學と社會主義經濟學に抗して國民經濟を倫理化せん事を意

圖したが經濟を倫理化するとは如何なる意味か？之を問ふため
に我々は彼等が經濟行爲を如何に把握したか、即ち彼等の人間
學を吟味することが必要である。彼等は共に經濟生活從つて國
民經濟を、技術的側面と心理的(倫理的)側面とに區別して、自
由主義經濟學の人間典型ホモ・エコノミクスを却けると共に、
利己心に制限された妥當性を認めることに於いて社會主義經濟
學の人間學にも反對した。従つて資本主義社會の惡結果を、心
理的側面を強調し、その社會態としての制度を改良することに
より之を除去せんとしたのであるが、それは即ち社會政策であ
る。而してかゝる人間學に對する批判の要點は(一)經濟行爲の
二面性の指摘は根據があるが、經濟學の對象がその社會性に於
いて捉へられてゐないこと(此の對象把握の錯誤が方法論争を
惹起したのである)、(二)彼等の人間學には歴史哲學的根據が
缺けてゐること、(三)彼等の人間學には主體性に於ける反省が
なく、主觀道德を以て律せんとするに過ぎぬこと(之が社會政
策學會の必然的運命即ち沒價值性理論による彼等の後退を惹起
した)である。——

次に松井氏報告の要旨は左の如くである。——古典學派の比較生産費説は理論的には正しいが現實的には何物をも説明し得ないと云ふ非難の聲が屢々發せられるのは、その説の餘りに高き抽象性によるものと言へるであらうが、近代に於ける比較生産費説の研究は、理論からかゝる抽象性を除き去つて出来るだけ現實に近づくことに集中されて居り、ハーバラーの貿易理論もかゝる試みの一つとして捉へらるべきである。即ちハーバラーは比較生産費説から労働費用論を排除し、それに代ふるに機會費用 Opportunity Cost の理論を以てしたのである。蓋し機會費用の理論は、労働費用論が普遍的生産手段に労働の存在のみを前提するに對し、多種類の生産手段が存在する場合にも妥當するが故に遙かに具體的であると云はねばならぬ。併しハーバラー貿易理論もまた、從來の貿易理論と同様、生産の構造に全く無關心であつた點に更に批判さるべき餘地を残してゐるのであつて、ハーバラーが古典學派を超えんとしながら而も實質的な意味に於いてそれを超え得なかつたのは、彼が生産の構造を問題とせず、従つて貿易現象を社會的再生産過程の一環とし

て捉へなかつたことによるものであらう。——

出席者。谷口、八木、大塚、中谷、白杉、島、松井、山岡の諸先生。相澤、青盛、大谷、岡倉、岡本、菊田、北野、小泉、西藤、武田、出口、服部、前田、松尾(彰)の諸氏。

會員動靜

- 近藤 史吉 京都市左京區北白川下池田町九二
- 相原 正一郎 日本勸業銀行京都支店
京都市上京區烏丸通一條上ル西入
- 阿川 幸壽 滿洲大石橋滿鐵地方事務所
野村銀行秘書課
西宮市常盤町一—二
- 赤石 二郎 日本生命保險株式會社瀨戶出張所長
瀨戶市陶原町三二四一(電三二七七)
- 梅村 勝利 日本勸業銀行本店
- 大津 三夫 東京市蒲田區原町二二三
- 鎌山 貞利 大阪住友電線製造所
兵庫縣武庫郡精道村打出大太リ一八ノ一
(電普屋二七九四)
- 岸 要 大阪市住吉區松崎町二丁目十九
(電天王寺四一〇)
- 岸田 幸雄 東京市赤坂區高樹町三
- 近藤 一男 大日本紡績株式會社計算課
大阪市住吉區旭町二丁目昭三利寮
(電戎三五〇八)
- 白石 磷

| | | |
|-----------|-------------------------------------------------|--------|
| 篠崎 正明 | 兵庫縣武庫郡打出堀ノ内一九 | 木村 万一方 |
| 川 中 正 恭 | 帶廣市東二條七丁目二 北海道拓殖銀行支店 | |
| 川 中 滿 吉 郎 | 大阪市東區北濱四丁目三八 安田信託株式會社大阪支店 | |
| 高 宮 氏 夫 | 福岡縣大牟田市有明町六九 三井三池鑛業所 | |
| 高 橋 眞 治 | 朝鮮平壤府濱町一二 | |
| 津 留 昌 | 新京大同大街大興ビル 滿洲興業銀行 | |
| 富 比 愛 次 郎 | 廣島市下中町官舎 | |
| 中 川 力 | 長崎縣東彼杵郡大村町四七四 | 中川 三郎方 |
| 藤 岡 長 敏 | 東京府書記官總務部長 東京市芝區芝公園一八ノ七官舎 | |
| 本 間 恒 治 | 公社債株式引受賣買及企業金融業 東京市世田谷區玉川尾山町四五 (電話調布二〇三〇) | |
| 松 浦 素 | 内閣統計局人口課 東京市豐島區巢鴨六ノ一五三五 | |
| 前 川 隆 | 尼ヶ崎市北城内一二九ノ一 | |
| 山 本 幸 吉 | 山陽線三田尻福島莊 | |
| 和 田 三 良 | 京都市左京區下鴨北園町六ノ二 | |